

【概要】

- 2020年4月13日に発生した協力企業作業員の身体汚染の原因調査において、一部の全面マスクの排気弁に変形が確認されました。そのため、変形の原因が確認されるまでの間、暫定の対策として、同型のマスクの配備を中止するほか、継続して使用する異なる型のマスクについては、作業中に適宜リークチェックを実施するとともに、マスク内の曇り状況や呼吸のし易さに変化が確認された場合は、直ちに作業を中断するよう、周知を行っています。なお、異なる型のマスクの排気弁においては、変形は確認されていません。（2020年4月16日お知らせ済み）
- その後、排気弁が変形した原因を調査するため、同型のマスク、および異なる型のマスクの排気弁について、変形試験を継続的に行った結果、マスクの洗浄・除菌・消臭を目的に使用している次亜塩素酸水、または除菌消臭剤に浸漬した場合において、同型のマスクの排気弁のみに変形がみられました。この結果から、当該マスクの排気弁が変形した原因は、次亜塩素酸水または除菌消臭剤の薬液の影響によるものと推定しました。
- 上記の原因を踏まえ、再発防止対策として、同型のマスクについて、薬液の影響による変形が生じにくい改良型（材料を改善）の排気弁に交換し、配備が整う2021年7月中旬を目途に使用を再開する予定です。
- また、今後マスクの型によらず、1年に1回新品の排気弁に交換することとし、排気弁変形の未然防止に努めてまいります。

【参考】排気弁の変形試験結果

✓アルカリ水、次亜塩素酸水、除菌消臭剤、それぞれ1週間浸漬

✓同型のマスクにおいて、次亜塩素酸水、除菌消臭剤に浸漬した場合、変形有り

	使用目的	同型のマスク	異なる型のマスク(A)	異なる型のマスク(B)
アルカリ水	使用済マスクの洗淨	変形無し	変形無し	変形無し
次亜塩素酸水	アルカリ水での洗淨後の洗淨・除菌・消臭	変形有り	変形無し	変形無し
除菌消臭剤	マスク使用前の除菌・消臭 (使用者がセルフで実施)	変形有り	変形無し	変形無し